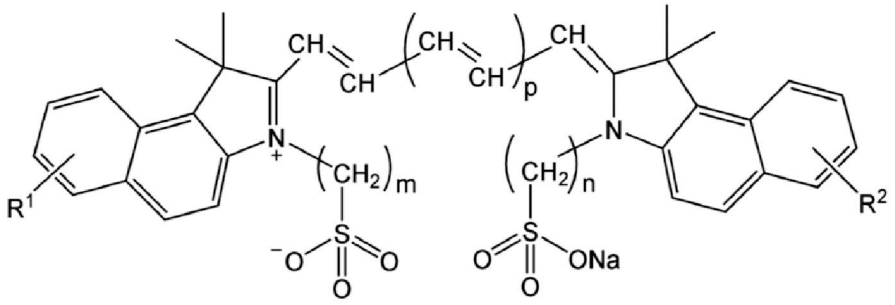
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年5月7日(2025.5.7)

【国際公開番号】WO2024/043306
【出願番号】特願2024-542873(P2024-542873)
【国際特許分類】
C09K 11/06(2006.01)
A61L 29/04(2006.01)
A61L 29/06(2006.01)
A61L 29/12(2006.01)
A61L 29/14(2006.01)
A61L 31/04(2006.01)
A61L 31/06(2006.01)
A61L 31/12(2006.01)
A61L 31/14(2006.01)
A61K 49/00(2006.01)
A61K 47/36(2006.01)
A61K 31/404(2006.01)
A61K 47/10(2017.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｋ １１/０６
Ａ６１Ｌ ２９/０４ １００
Ａ６１Ｌ ２９/０６
Ａ６１Ｌ ２９/１２ １００
Ａ６１Ｌ ２９/１４
Ａ６１Ｌ ３１/０４ １１０
Ａ６１Ｌ ３１/０６
Ａ６１Ｌ ３１/１２ １００
Ａ６１Ｌ ３１/１４
Ａ６１Ｋ ４９/００
Ａ６１Ｋ ４７/３６
Ａ６１Ｋ ３１/４０４
Ａ６１Ｋ ４７/１０ ＺＮＡ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月5日(2025.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式（１）で表される化合物（Ａ）と、
水酸基含有有機化合物（Ｂ）と、を含有し、
さらに、樹脂（Ｃ）として、ポリウレタン系樹脂、オレフィン系樹脂、エポキシ系樹脂、塩化ビニル系樹脂、フッ素系樹脂、ポリカーボネート系樹脂、ポリアミド系樹脂、ＡＢＳ系樹脂、アセタール系樹脂、アクリル系樹脂、及びシリコーン系樹脂からなる群より選ばれる少なくとも１種を含む、蛍光標識用組成物。

【化１】



(1)

（式中、R^1及びR^2は、それぞれ独立して、水素、炭素数１～１３のアルキル基、炭素数１～１３のアルコキシ基、又はスルホネート基を表し、ｐは、１～５の整数であり、ｍ及びｎは、それぞれ独立して、１～１２の整数である。）

【請求項２】

２５℃、相対湿度５０％において、固形状又は半固形状である、請求項１に記載の蛍光標識用組成物。

【請求項３】

請求項１または２に記載の蛍光標識用組成物を含有する、医療器具。

【請求項４】

前記医療器具は、皮下埋め込み型ポートであり、

前記皮下埋め込み型ポートは、

セプタムと、

前記セプタムを保持するハウジング部と、

前記ハウジング部の内部で、かつ、前記セプタムの外側に配置される指標部材と、を有し、

前記指標部材が、前記蛍光標識用組成物を有する、請求項３に記載の医療器具。

【請求項５】

前記指標部材は、前記セプタムを囲む形状である、請求項４に記載の医療器具。

【請求項６】

前記医療器具は、ステント、チューブ、カテーテル、クリップ、３Ｄプリンター用フィラメント、及び樹脂製の繊維材料からなる群より選ばれる１つである、請求項３に記載の医療器具。

【請求項７】

請求項１または２に記載の蛍光標識用組成物を含有する、蛍光プローブ。

【請求項８】

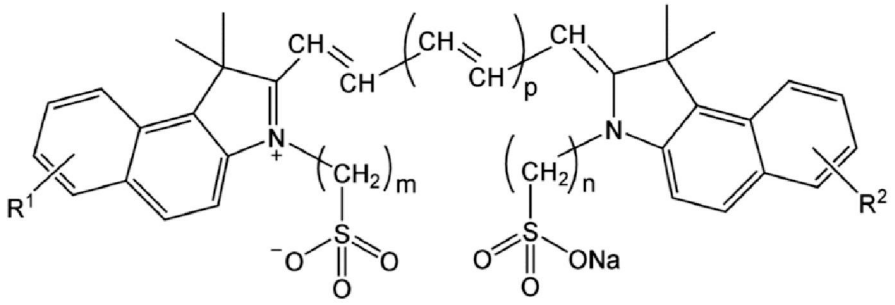
粘膜上又は皮膚上に存在する対象物を標識する標識用注入剤であって、

下記式（１）で表される化合物（Ａ）と、

水酸基含有有機化合物（Ｂ）と、

添加物としての（Ｄ）成分と、を含有する、注入剤。

【化２】



(1)

（式中、R^1及びR^2は、それぞれ独立して、水素、炭素数１～１３のアルキル基、炭素数１～１３のアルコキシ基、又はスルホネート基を表し、ｐは、１～５の整数であり、ｍ及びｎは、それぞれ独立して、１～１２の整数である。）

【請求項９】

（Ｄ）成分として、アルギン酸ナトリウムおよびヒアルロン酸ナトリウムの少なくとも一方をさらに含む、請求項８に記載の注入剤。

【請求項１０】

前記（Ｄ）成分を、合計で０．０１～１０質量％含む、請求項９に記載の注入剤。

【請求項１１】

請求項８から１０のいずれかに記載の注入剤を充填したシリンジ。

【請求項１２】

請求項１または２に記載の蛍光標識用組成物の製造方法であって、
前記化合物（Ａ）と、前記水酸基含有有機化合物（Ｂ）と、を混合する混合工程と、
前記化合物（Ａ）と前記水酸基含有有機化合物（Ｂ）とを混合した顔料を、前記樹脂（Ｃ）に混練する工程と、を含む、蛍光標識用組成物の製造方法。

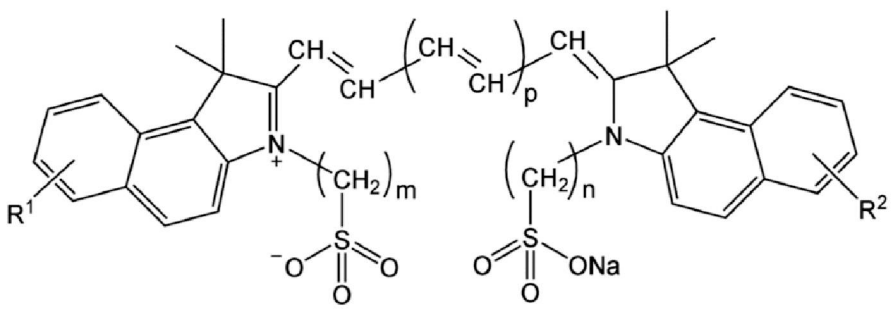
【請求項１３】

前記混合工程では、前記化合物（Ａ）０.０００００００１～１０質量％と、前記水酸基含有有機化合物（Ｂ）としてのアルコール性水酸基化合物（Ｂ１）１～９０質量％と、を混合する、請求項１２に記載の蛍光標識用組成物の製造方法。

【請求項１４】

下記式（１）で表される化合物（Ａ）を０．０００００００１～１０質量％含む溶液を、水酸基含有有機化合物（Ｂ）を含有する繊維素材に含浸させ、またはスプレー噴霧する含浸工程と、
前記含浸工程の際に遮光を行う遮光工程と、を含む、医療用繊維素材の製造方法。

【化３】



(1)

（式中、R^1及びR^2は、それぞれ独立して、水素、炭素数１～１３のアルキル基、炭素数１～１３のアルコキシ基、又はスルホネート基を表し、ｐは、１～５の整数であり、ｍ及びｎは、それぞれ独立して、１～１２の整数である。）

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９９】
また、絹（Ｂ３）の構造式を以下に示す。

【化９】



なお、上記の構造式において、ｎ＝２である。Ｇはグリシンを示し、Ａはアラニンを示し、Ｓはセリンを示し、Ｔはチロシンを示す。